

教育相談だより

発行 教育相談だより 第1号
発行日 令和5年 4月 10日(月)
発行者 山梨県立中央高等学校
定時制 教育相談部

新しい年度が始まりました。生徒の皆さんも今年度がさらに素敵な新しい自分と出会えるような年度になるといいですね。あらためまして新入生のみなさん、入学おめでとうございます。在校生のみなさん、こんにちは。教育相談部です。皆さん、4月は新しい環境になり、新しい人との出会いがありますね。不安と希望につつまれて、緊張が続き、環境の変化に慣れるまで少し時間がかかるかもしれませんね。体調を崩してしまったり心が疲れてしまったり、誰かに辛いことや苦しいことを話したいけど、周りに話を聞いてもらえる人がいない・・・そういったときにはどうぞ気軽に教育相談室に来てください。辛いことや悩み事を誰かに話すことで気持ちが軽くなり、心が晴れ晴れすることもあります。相談内容については、秘密を必ず守りますので安心して来てください。今回は、教育相談室ってどんなところかを紹介します。



1 スクールカウンセラーによるカウンセリングが受けられます。

そうだん せんもんてき
相談したり専門的なアドバイスを受けたりすることで、いや じ こ せい ちよう癒しや自己成長の機会を得ることができます。カウンセリングは、1回45分でおこなう予定です。詳しいことが決まったら、またお知らせします。希望する生徒は担任の先生や教育相談係に申し出てください。保護者の方も相談することができます。

2 教育相談スタッフが、話し相手になったり相談にのったりします。

りんしょうしん りがく
臨床心理学を学んでいる大学院生が来て、生徒のみなさんの話し相手や相談相手になります。コミュニケーションスペースなどにいたり、みなさんに話しかけたりします。特に相談がなくても、気軽に話をしに来てください。

3 みなさんの希望で選ぶチューター（個別担任）が相談や支援を行います。

ホームルーム担任の他に、生徒のみなさんが希望する先生をチューターとして登録し、日常的に相談にのってもらうことができます。



4 人間関係や学習にむずかしさを感じる生徒のみなさんの支援を行います。

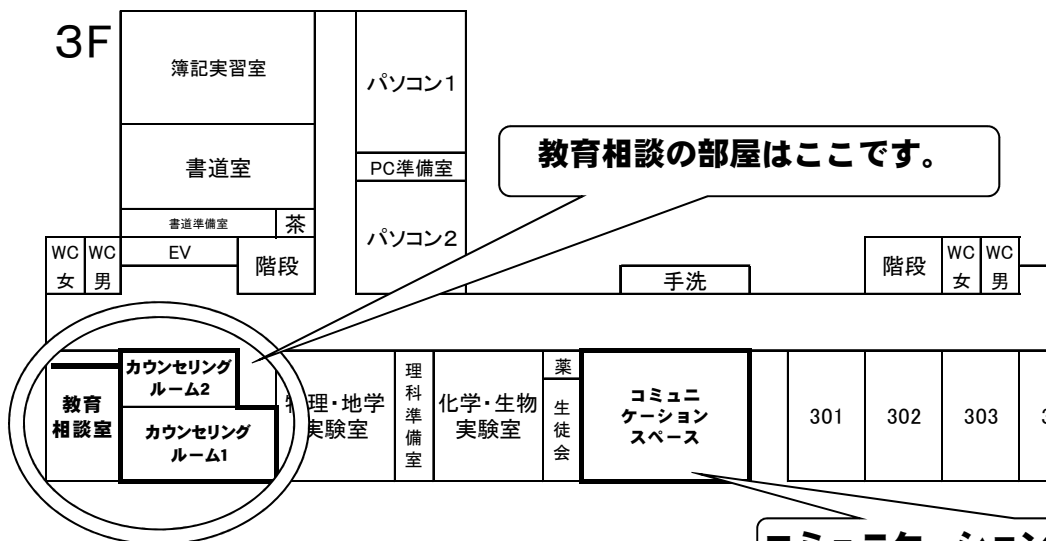
教育相談係の先生を中心に全員先生たちが、生徒のみなさんの人間関係や学習面でのむずかしさを助けます。卒業予定生のみなさんは、就職活動や社会生活を送るにあたって、よい人間関係をつくっていく必要があります。

そのための練習をソーシャルスキルトレーニング（SST）といいます。必要とする生徒には、引き続きSSTをおこなっていきます。相談してください。

5 3階にあるカウンセリングルームで、みなさんの相談にのります。

教育相談係の先生は、ふだんは^{きょういくそうだんしつ}教育相談室という部屋にいます。

2つあるカウンセリングルームでみなさんの相談相手や話し相手になります。
気軽に声をかけてください。



◎教育相談係の先生：

よしむら 吉村先生（商業） なかやま 中山先生（体育） あきやま 秋山先生（家庭） のなか 野中先生（地歴公民）

6 癒やしの空間コミュニケーションスペースが3階にあります。

3階には、みなさんが休み時間などに過ごせる
コミュニケーションスペースという場所があります。
みんなが使う場なので、ルールを守って使ってください。



利用できる時間は、

- 午前、午後、夜間の授業が始まる10分前まで
- 授業の間の休み時間
- 放課後の下校時刻までです。

* 定期試験期間中、授業時間内、所属部の下校時刻を過ぎてからは使用できません。

7 養護教諭が保健室（1階）でも相談にのります。

保健室でも、養護教諭の先生が相談にのってくれます。

午前・午後は、^{くまがいよしみ}熊谷芳実先生、午後・夜間は^{おくだいらみちこ}奥平美智子先生が対応します。

8 その他様々な「困った」に、SSW(スクールソーシャルワーカー)が相談にのります。

山梨県にはSSW(スクールソーシャルワーカー)が配属されていて、経済的なことや進路関係、家庭の事情においても相談に応じ対応しています。気軽に声をかけてください。